

事業所名

ちえりまる

支援プログラム(児童発達支援)

作成日

2026年

5月

1日

法人(事業所)理念		自分らしく、安心できる家のような場所。							
支援方針		一人一人の個性を大切にし、心身状態や発達に応じた支援を行うことで、地域の中で安心して自分らしく生きることができるように支援します。いのちと尊厳を大切にし、安心できる環境の中で、その人らしい成長を支え、家族に寄り添う支援を行います。							
営業時間		11時	30分	から	17時	30分	まで	送迎実施の有無	あり
支 援 内 容									
本人 支 援	健康・生活	健康状態を確認し、必要なケアを行います。心身の状態や発達段階に配慮しながら基本的な生活習慣の形成、清潔保持、食事、排せつ、移動等の日常生活動作の支援を行い、心地よく安全に過ごせるように支援します。							
	運動・感覚	個人の身体機能や健康状態に応じて、姿勢保持や移乗等の基本動作に関する支援を行い、無理のない範囲で運動機能の維持、活用を図ります。合わせて、遊びや療育の中で視覚、聴覚、触覚等の感覚を刺激し、安心感や心地よさを大切にしながら、周囲の環境や人との関わりにつながる支援を行います。							
	認知・行動	一人ひとりの発達段階や心身の状態に応じて、周囲の人や物、環境への気づきや興味、関心を引き出せるように支援します。見通しの持てる環境を整え、表情やしぐさ、反応を丁寧に受け止めながら、安心して過ごし、自分なりの理解や意思表示につながるように支援します。							
	言語 コミュニケーション	表情、視線、発声、しぐさ等の意思表示を丁寧に受け止め、利用者個人に合った方法で気持ちや要求を伝えられるように支援します。必要に応じて絵カードや写真等を活用しながら、安心して人と関わり、経験を重ねられるように支援します。							
	人間関係 社会性	安心できる人との関わりを土台に、心身の状態や発達段階に応じて、他者への関心や、やりとりの楽しさを感じられるように支援します。友達や職員と触れ合い、集団活動への参加を通じて、人との関係づくりや社会との関わりを広げられるように支援します。							
家族支援		情報共有を行いながら、家庭での相談援助やレスパイトの視点を含めた支援を行い、家庭での負担軽減と安心した生活につながるよう支援します。				移行支援		進級、進学、卒業等のライフステージに応じて情報共有や支援内容の調整を行い、切れ目のない支援を行えるように取り組みます。	
地域支援・地域連携		関係機関との連携を行い、地域の社会資源の活用を通じて、継続的で一貫した支援につながるよう取り組みます。				職員の質の向上		日々の振り返りや研修を通じて、職員の知識、技術、専門性の向上に努めます。多職種が連携しながら、安全管理や権利擁護の視点を大切にし、より良い支援の提供につなげます。	
主な行事等		季節の行事や制作活動、感覚遊び、誕生日会等、無理なく参加できる活動で楽しみや経験の幅を広げられるように支援します。長期休暇には無理のない範囲で屋外活動等を通じて季節や人との関わりを感じられるよう取り組みます。							